
Sync .

路瀨存

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

S y n c .

【Nコード】

N 8 5 9 1 S

【作者名】

路瀨存

【あらすじ】

s y n c 「 s ? ? k 」 : (略式) 「 名 」 「 U 」 同調 , 一致 (s y n c h r o n i z a t i o n , s y n c h r o n i z e の省略形) (『 ジーアス英和大辞典 』 大修館書店 , 2004年・より引用)

S y n c (1)

水を浴びるS y n c

現代詩

とかいう名を冠しているやつら

おしなべて

むれるやつら

の名前を

ひとしく孕めと

噎せながら肺をみたし

食いけさえ

能わぬとき

わたしのはいに

丁寧になんども

なんべんも

ふかくふかく

おりたたまれた空気が

しわをのばすように

あかい血をめぐらせて

S y n c は

ねばつくよるを

たのしみながら

沈殿して

S

Y

N

C

呼吸する窓のそばじえ

とわと

しじまに
寝息をたてながらわたしは
まどろむ
みちばたで
土くれに
うずまるSyncを
耽溺しながら

S y n c (1) (後書き)

参考文献：

ランボー著、小林秀雄訳『地獄の季節』岩波文庫、1970年・

拙詩集『ハムソネ』より、同テーマを抽出して掲載しております。

S y n c (2)

今宵わたしはいかように歩けばいい
軋む胃の奥にしゃがみ、
染みだす珈琲に溺れながら
両手で
両手で顔を押さえ、
ふかく
ふかくにちぢこまり
喉いっぱいに叫びたい
泥沼の空へむかって
はりあげて
かぶりをふり、
搔き篋り
ひぎを抱えてうずくまり
ちからいっぱいに
叫びたい
篝火のない仄暗い井戸にも
追憶から足音がざわつく泉にも
こだまの響かぬ山へも
どれもに
報せることもなかった筈の
雄鶏の徒言を
わたしも理性も、
そのわたしを止めはしなかった。
一緒に
叫んでやりたかった。

S Y N C (2) (後書き)

参考文献：

宮部みゆき『名もなき毒』幻冬舎、2006年。

T・S・エリオット著・岩崎宗治訳『四つの四重奏』岩波文庫、
2011年。

S y n c (3)

精液の通学路、デンドロカカリヤの種を蒔こう。

雨はマルキストのよそおいで

濡れた小熊のおみあしに

そつと括りつけておき

あしあとはふかい森に

葉を匿おうとした。

文字たちは

水べにあふれ

河を埋めつくした

うねる文字列を

小瓶につめて

躍る羽根ペンの先にのせて

空売りレターをとばそう。

ゆるる穂をつぶす

渴いた拡声器のように。

そのときのラジオは

達郎が

空をとぶ微粒子の名をよんだ。

海べにはジヨナサンが

丘にはアリサが

くぐれる扉をたたくと

ルーベンスと名乗る

したり顔のルーデンスがいる。

事実。そう。

口ずさむステイング、

詰めるカナ、肌にナード。

どこにいる。

ダールに飼い馴らされた

六百族の、ときおり口を揃えては

ロールズとセンをよぶ

阿修羅は。

はたして言魂は

うまれいでて排泄して

ベイズ遂行された。

それはおよそ透けるナツシュ解。

ミッドタウンの夜景にゆれる

アドバースセレクションのカクテル。

水溶性の文字たちが

饅えた臭いに化かされていく

ああ、夜が更け

顎は下へとほとばしる。

ほら種は

汚泥の通学路、

眼球驛の朶。

逢瀬のあとのページをつなぐ

たとえば乾いていたとしても。

S y n c (3) (後書き)

注：

デンドロカカリヤ…安部公房『水中都市・デンドロカカリヤ』新潮文庫より。

達郎…山下達郎。歌手。

空をとぶ粒子…山下達郎の曲「アトムの子」。

ジヨナサン…リチャード・バツク『かもめのジヨナサン』新潮文庫より。

アリサ…ジツドの『狭き門』の登場人物。

ルーデンス…ホイジンガ『ホモ・ルーデンス』中公文庫より。「遊ぶヒト(種)」の意。

ルーベンス…バロック期を代表する画家。

ステイング…歌手。「イングリッシュマンインニューヨーク」はP Vともども有名。

カナ…西野カナ。歌手。

ダール…米の政治学者。権力についての考察はしばしば引用される。六百属…ポケットモンスターの個体値。第七世代にはサザンドラ(悪ノドラゴン)という三つ首のモンスターがいる。

ナード…ナードコア。曲のジャンルとしてハードコアとの対比で用いられる。

セン…アマルティア・セン。厚生経済学や規範哲学を主に扱う経済学者。ノーベル経済学賞の受賞経験がある。

ベイズ遂行…社会選択理論での用語。

ナッシュ解…ゲーム理論の用語の1。

ミッドタウン…六本木にあるミッドタウンのこと。

アドバースセレクトション…契約理論の用語の1。

眼球譚…ジヨルジュバタイユ『眼球譚』河出書房より。

従前は「無題の毒メント」として投稿していたもの。

単数形ゲル活用

ゲル状の交差点までのあいだ
わたしは

未送信BOXの冷蔵庫で

Naples宛Tokyo行きのバスを

冷やしておいた

キン／キンゝと

ゆるみで止まる

とろけたバスのなかで

けれどわたしはついぞ

それを渡すことあたわずに

札幌大球とならべて

ゲル化させることにした。

それに追隨するしもべたちにとともに

ゲル化して交差点にながした

依然バスはぬかるみを出でず

バスにまぎらないものはおらず

冬のしもべは生きてはおらず

すべてがあべこべにないませにゲル化したそれ

複数のそれらが単数になったそれをわたしは恋と名付けた

けれどビニール袋だけ

バスの座席にある袋

AEONで買ったそのビニール袋につめた

固形しかもゲル化していない永久凍土で

キン／キンゝにひやかして

泥まみれのそれは

いまもNaplesにむかって歩く

夢遊病者である。ゲル化して交差点になっていたわたしの
分霊箱として。

初夏

そうして

夏はやってくる

ほら

耳をそばだてて

声をきいて

オフィスたちの

この街の

淡いそよ風の、

小鳥の囀りのような

ささやきを。

わたしたち

マントルにむかい

ミミズに近いところを

脈動するものたち

足早に地下をめぐり

土の鼓動に耳を傾けもせず

読みかけの書物から目もあげず

未知らぬけしきに目もくれず

日々に

胃に

穴をほり進め、

さながら土竜のような

また埋まりながら

あるいは幼蝉のような

ひびをやりすごす

わたしたち

そうして

夏はやってくる

ほら

街路樹のゆびさき

お堀のつまさき

武道館のえりあし

よそゆき顔で

みどりを湛える

移ろうそのときの

B Minor

ささやくようなこえを

耳を

澄まして

ほら

きいて。

St・Rum ento

「青い薔薇」

微熱は懐古をひきつれて
枕のそばに横たわる。
青い薔薇が風にゆれる。
わたしのうまれた日に
大輪の花をともし蠟燭。

その灯を吹き消さないで
嵐よ。人よ。
よあけの微熱ともう少し
抱きしめ合っていたいから。

「楽器」

どうせなら楽しく
どうせなら
いや、いかようにも
ならないこともある
それでも
どうせなら楽しく
と
つぶやくと
楽しさがやってくる
音もたてずに
なぜならそれは

いつもあなたのものであるから

「楽譜」

あたしの言葉は あなたのところ
あなたのところを うたうところ
あたしの言葉は だれかのところ
あたしのところを うかべるところ

たとえば曖昧な愛について

愛は管を通じて流れる、
たとえば血液のようなものである。
たとい脈打つことがあるとして、
だれがそれを意識しようか。

だれしもうたいながら、
そのだれもが手にするわけがなく、
けれどいつもその手にありながら、
しかしいつでも俣ならず、
だのにその身を象ること能わず、
折にふれて沸き立ち、
あるいは煮えて、
よどみ、それから沈澱し、
繰り返すたび深く
やがて宴のあと
それは息を呑むときに、
それは安らかなときに、
それは静寂のときに、
早鐘をうちながら
時を告げる

安らかな優しい呼吸のまま
はたと息が詰まるとき

ゆびさきの爪にまで
こころの糸がかようように
こそばゆく、くすぐりたい。

床に就いても眠れない

朝も 昼も 夜も

気付いたときから

絶えず

愛は

管を通じて流れ続けている。

たとえば愛は。

沈黙のパタンランゲージ

わたしたちのあいだにある
その沈黙を飲み干そう。
両手ですくいあげて
こぼれ落ちるのも構わずに。

しずくは
静謐と静寂の波紋を
幾重にも
わたし
と

あなた
とのあいだに
伝えてふるえ
幾多もの

あなた《E》
と

あなた《you》
の砂丘をさざなみのように
よせてはかえし、
かえしてはよせたまま、
沈黙をくわだてて
シチリアのうみにしずんでいった。

そう、たしかあれは
大雨のつぎのひ
みずのはえる畠
きいろいかわら屋根のそばで

つちとあめのかおりにつつまれて
ぬすまれてしまったシチリアの火。

しずくは

過去と未来の波紋を

幾重にも

わたし

と

あなた

とのあいだに

伝えてふるえ

幾多もの

あなた《E》

と

あなた《you》

の砂丘をさざなみのように

よせてはかえし、

かえしてはよせたまま、

いわんや

わたし

と

誰か

とのあいだには

さらに多くの沈黙が息をひそめているのだらう。

しずんでしずかに眠る火は

きのうの空気でもえていた

波打つ砂のみずは

風化の筆名がぬすんできた

だから

わたしは、
わたしたちは
わたしとあなたと
あなたのそのさきのだれかとのあいだにある
その沈黙を飲み干そう。
両手ですくいあげて
こぼれ落ちるのも構わずに。

S y n c : わたしのJIT

くべるものをさがしている。

ときおり思い出せばよいのだけれど、
ふかく吸い込むことをわすれてしまっ
はきだすことならいつときも
消えてしまわぬままなのに

ときおり忘れればよいのだけれど、
ほそくはきだすことをおぼえていない
すいこむことならいつときも
消えてしまわぬままなのに

くべるものをさがしている
ときおり思い出せばよいのだけれど、

あめのあと、

とんとんとんとん・とんとん
と
しぶきが撥ねる

とん・つー・とん

と あまつぶ に

寄り添い、ひとつに溶けた 窓

東雲の葦は

露をしたためた睫毛なのです。

まばらに雫を振りみだし

ときおり思い出せればよいのだけれど、

それらはいつでも夜あそびばかりで、

呼吸をする違さえ

与えない

くべるものをさがしている

とおくではたちまち埋没してしまう

うねることも、ゆびのあとも、

ときおり忘れればよいのだけれど、

甘い言葉に、マドレーヌ。

趣味の変幻をよみながら、

お庭に種を蒔いている。

くべるものをさがしているさがさなくとも
すぐ足もとにころがっている忘れたくとも

エコノミストは

ホップ

・ステップ

・バンプ!

もはや機能はうしなわれた!

あしたも、あさっても、そのさきも!

つまりは政治的植物状態である

にんげんは

体育座りのポリアーキー、

砂金集めのエコロジスト、

思考錯誤のニヒリスト、

息巻いて窒息死、

あるいは

平身低頭、

てゆーか、

適当。

くべるものをさがしている

ときおり思い出せればよいのだけれど、

くべるもの、くべる

もの

とは

なにか

くべる、くべる、くべる

とは

なにか

くべ

る

ク

れじ
お

山よ、つま先で く くるる 踊れ、
三日月 ル クルレ 梯子を爪弾き
夜半を奏でる屋根のうえ、
くるる く つま先 ダンスする

花瓶の麓で三日月は
れ ヴァーリエ

小躍りする軌跡

弧であり半月であり

つまり山はつま先で踊り、

腰掛けるcosもつま先で踊る

鳥ははばたく羽根をひろげて

勝利の夜空をsignで舞う

つまりは千鳥足

大股で歩く兵士のことなのです。

くべるものをさがしている

くべるもの、あるいはソシユール

あるいはそしらぬ顔で圭三郎

ならばくべる

くべるる

もの

くべらるる

もの

と

それとは紐づかぬもの

紐づくものなら

くべりうるものをさがさねば

はりつめた心線をはりかえて、つまびいて、
ふれてみて。

うねる斜線の

流れや、ふくらみや、細かなちがいを

くべるもの

くべるものの中に

わたしはいない

あなたもいない

すべからく

くべられぬもの

ときおり忘れ、

ときおり思い出す、

紐は、弱い紐帯のままに

くべられぬ言葉として

くべられぬ想いとして

くべらるる

無言のままに

無作為のままに

弱い紐帯で束縛された資本を

へだてることなく、

どうかあなたへ届きますよう
そしてそのようなかたりべでありますよう。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8591s/>

Sync .

2011年10月5日08時24分発行